

平成30年度 関東高等学校水泳競技大会

第69回 関東高等学校選手権水泳競技大会

兼第86回 日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会

実 施 要 項

(競泳 ・ 飛込 ・ 水球)

期 日	(競泳) 平成30年 7月21日(土)～23日(月) 3日間
	(飛込) 平成30年 7月21日(土)～22日(日) 2日間
	(水球) 平成30年 7月21日(土)～23日(月) 3日間
会 場	横浜国際プール (競 泳) 相模原市立総合水泳場 (飛 込) 相模原市立総合水泳場 (水 球)
主 催	関東高等学校体育連盟・公益財団法人日本水泳連盟 神奈川県教育委員会
主 管	関東高等学校体育連盟水泳専門部 神奈川県高等学校体育連盟・一般社団法人神奈川県水泳連盟
後 援	公益財団法人神奈川県体育協会 横浜市教育委員会・相模原市教育委員会 公益財団法人横浜市体育協会 公益財団法人相模原市体育協会

1 期 日

- (1) 開 会 式 平成30年 7月21日(土)
 競泳 9時30分～
 飛込 8時00分～
 水球 8時00分～
- (2) 競 技 平成30年 7月21日(土)～23日(月) 3日間
 競泳・水球
 平成30年 7月21日(土)～22日(日) 2日間
 飛込
- (3) 閉 会 式 平成30年 7月23日(月)
 競泳 15時30分～(予定)
 水球 15時30分～(予定)
 平成30年 7月22日(日)
 飛込 15時45分～(予定)

2 会 場

- (1) 競 泳
 ア 開会式 横浜国際プール
 〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1 TEL 045-592-0453
 (横浜市営地下鉄線 北山田駅 徒歩5分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉会式 同 上
- (2) 飛 込
 ア 開会式 相模原市立総合水泳場
 〒252-0242 神奈川県相模原市中央区横山5-11-1 TEL 042-758-3151
 (JR相模線 上溝駅 徒歩10分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉会式 同 上
- (3) 水 球
 ア 開会式 相模原市立総合水泳場
 〒252-0242 神奈川県相模原市中央区横山5-11-1 TEL 042-758-3151
 (JR相模線 上溝駅 徒歩10分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉会式 同 上

3 参加都県

山梨県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・茨城県・栃木県・神奈川県(1都7県)

4 競技種目(日程)

(1) 競 泳

ア 種 目

種 目	男 子	女 子
自由形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
背泳ぎ	100m 200m	100m 200m
平泳ぎ	100m 200m	100m 200m
バタフライ	100m 200m	100m 200m
個人メドレー	200m 400m	200m 400m
フリーリレー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
メドレーリレー	4×100m	4×100m

イ 競技日程

第1日 7月21日(土)	第2日 7月22日(日)	第3日 7月23日(月)
開会式 9時30分 競技開始 10時10分	競技開始 9時30分	競技開始 9時30分 閉会式 15時30分
No 性別 種目	No 性別 種目	No 性別 種目
1. 女子200m平泳ぎ 予選	25. 女子200m自由形 予選	47. 女子100m自由形 予選
2. 男子200m平泳ぎ //	26. 男子200m自由形 //	48. 男子100m自由形 //
3. 女子 50m自由形 //	27. 女子800m自由形 タイム決勝	49. 女子200m背泳ぎ //
4. 男子 50m自由形 //	28. 女子100m背泳ぎ 予選	50. 男子200m背泳ぎ //
5. 女子200m個人メドレー //	29. 男子100m背泳ぎ //	51. 女子100m平泳ぎ //
6. 男子200m個人メドレー //	30. 女子100m ^ハ タフライ //	52. 男子100m平泳ぎ //
7. 女子400m自由形 //	31. 男子100m ^ハ タフライ //	53. 女子4×200mフリーレー //
8. 男子400m自由形 //	32. 女子400m個人メドレー //	54. 男子4×200mフリーレー //
9. 女子200m ^ハ タフライ //	33. 男子400m個人メドレー //	55. 女子100m自由形 決勝
10. 男子200m ^ハ タフライ //	34. 女子4×100mメドレーレー //	56. 男子100m自由形 //
11. 女子4×100mフリーレー //	35. 男子4×100mメドレーレー //	57. 女子200m背泳ぎ //
12. 男子4×100mフリーレー //	36. 男子1500m自由形 タイム決勝	58. 男子200m背泳ぎ //
13. 女子200m平泳ぎ 決勝	37. 女子200m自由形 決勝	59. 女子100m平泳ぎ //
14. 男子200m平泳ぎ //	38. 男子200m自由形 //	60. 男子100m平泳ぎ //
15. 女子 50m自由形 //	39. 女子100m背泳ぎ //	61. 女子4×200mフリーレー //
16. 男子 50m自由形 //	40. 男子100m背泳ぎ //	62. 男子4×200mフリーレー //
17. 女子200m個人メドレー //	41. 女子100m ^ハ タフライ //	
18. 男子200m個人メドレー //	42. 男子100m ^ハ タフライ //	
19. 女子400m自由形 //	43. 女子400m個人メドレー //	
20. 男子400m自由形 //	44. 男子400m個人メドレー //	
21. 女子200m ^ハ タフライ //	45. 女子4×100mメドレーレー //	
22. 男子200m ^ハ タフライ //	46. 男子4×100mメドレーレー //	
23. 女子4×100mフリーレー //		
24. 男子4×100mフリーレー //		

※1 リレー種目の決勝の前に、表彰式終了後10分程度の休憩を入れる。

※2 予選・決勝ともに10レーンで行う。

(2) 飛 込

ア 競技種目

(ア) 男子の部

- ・ 3m飛板飛込 11演技種目
制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目
自由選択飛 各群より6演技種目
(各群より、但しこの内1種目はいずれの群より選択しても良い)
- ・ 高飛込 10演技種目
制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
自由選択飛 各群より6演技種目

(イ) 女子の部

- ・ 3m飛板飛込 10演技種目
制限選択飛(難易度計9.5以内) 各群より5演技種目
自由選択飛 各群より5演技種目
- ・ 高飛込 9演技種目(5つ以上の群より)
制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
自由選択飛 異群より5演技種目

イ 競技方法

- (ア) 参加選手16名以上の競技種目は予選を行う。
- (イ) 予選における演技種目は自由選択飛とする。
- (ウ) 決勝進出者は予選上位12位までの選手とする。
- (エ) 決勝は、各種目とも、それぞれの制限選択飛、自由選択飛の全種目で行う。
- (オ) 順位の決定は決勝の得点合計によって行う。
※飛込は「ダイブシート」を予選、決勝各々1通、自分が行おうとする飛込演技番号・型・高さ・難易度を記入して、当該競技の前日12時～15時の間に、飛込プールサイドに設置してある箱に入れること。なお、「ダイブシート」は(公財)日本水泳連盟指定の用紙を(公財)日本水泳連盟ホームページよりダウンロードして使用すること。

ウ 競技日程

第1日	7月21日(土)	競技開始	9時30分	女子飛板飛込 予選・決勝 男子高飛込 予選・決勝
第2日	7月22日(日)	競技開始	9時00分	男子飛板飛込 予選・決勝 女子高飛込 予選・決勝

(3) 水球

競技日程

第1日	7月21日(土)	競技開始	9時00分	1回戦4試合	2回戦4試合
第2日	7月22日(日)	競技開始	9時00分	2回戦4試合	3回戦4試合
第3日	7月23日(月)	競技開始	9時00分	準決勝2試合	3位決定戦 決勝

5 競技規則

2018年度(公財)日本水泳連盟競技規則による。

6 競技方法

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、下記による。
(競泳男子・女子、飛込男子・女子、水球男子 5部門)

(1) 競泳

個人種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、リレー種目は1位16点、2位14点……8位2点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- ア リレー種目による得点の多い学校。
- イ 入賞者数の多い学校。(但し、リレー種目は4と計算する)
- ウ 1位の数。
- エ 2位の数。(以下、8位までこれにならう)

(2) 飛込

各種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- ア 入賞者数の多い学校。
- イ 1位の数。
- ウ 2位の数。(以下、8位までこれにならう)
- エ 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校。(平均点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する)
- オ 当該入賞者の得点の内で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校。

- (3) 水球
 - ア 全試合をトーナメントで行う。(3位決定戦も行う)
なお、前年度成績上位4チームをシードとし、組合せは公開抽選を行う。
 - イ 1回戦から準々決勝までは7分4ピリオドで実施する。準決勝および3位決定戦・決勝は8分4ピリオドで実施する。
 - ウ 全試合、同得点の場合は延長戦を行わず、ペナルティ・スロー戦で勝敗を決定する。

7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は、都県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、平成30年(2018年)度(公財)日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- (3) 年齢は、平成11年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後1年未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、第115条、第124条、第134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - ① 大会参加資格を認める条件
 - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会からの出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - ② 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- (9) 前記(1)～(8)の他、次の項によって参加資格を得た者。
 - ア 競泳は各都県主催団体の予選会の成績で、各種目決勝第8位までの入賞者またはチーム(但し、4位、5位、6位、7位、8位については別記関東大会の標準記録を突破した者に限る)とする。
なお、予選・決勝を問わず、全国大会標準記録を突破した者は主催団体の推薦を経てその種目を申し込む。
注1 個人種目では、必ず標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレー種目の第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。
 - イ 関東大会出場資格特別措置
現在の参加資格に特別措置として次の項目を追加する。
- (特別措置)
選手が国際大会などの代表に選ばれたため、予選会(都県大会)に出場できない場合は、予選会(都県大会)への出場を免除する。リレー種目についても、代表選手がチームの一員として出場した当年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用して、標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。但し、その理由書を都県委員長に提出すること。届出者は、当該学校長とする。この

ことに関しての出場措置は、次のように行う。

- ①予選会(都県大会)不出場、関東大会出場の場合は、予選会(都県大会)8位まで(標準記録突破者) + 派遣選手とする。
 - ②予選会(都県大会)出場、関東大会不出場の場合は、下位選手の操上げを行い、関東大会の出場者を8名以内(標準記録突破者)とする。
- ウ 飛込は各都県主催団体の推薦を経て各都県高体連水泳専門部の締切に間に合うように申し込む。
 エ 水球は各都県主催団体の承認を経て下記チーム数だけ申し込む。(参加チーム数を超える都県は予選会を行い、上位より参加チームを決定する)
- | | | | | | | | |
|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|
| 埼玉県 | 4チーム | 千葉県 | 3チーム | 東京都 | 4チーム | 茨城県 | 2チーム |
| 栃木県 | 1チーム | 神奈川県 | 2チーム | 山梨県 | 1チーム | 群馬県 | 3チーム |
- (合計20チーム)
- オ 同一時期開催の競技会においては、本部の規約で重複エントリーは禁止されている。

8 引率・監督について

- (1) 出場チームの選手は、必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
- (3) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
 但し、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

9 参加制限

- (1) 競泳は1校1種目3名以内、1名2種目以内(但し、リレー種目を除く)。
- (2) フリーリレーは参加資格を得た4名と補員を2名、メドレーリレーは参加資格を得た4名と補員を4名申し込むことができる。参加資格を得た4名と補員が出場できるのは、申し込んだ種目に限定され、他のリレー種目には出場できない。但し、個人種目で関東大会に出場しているものは、フリーリレー並びにメドレーリレーに出場することができる。
 (参加資格を得た4名とは、決勝で関東大会参加標準記録を切り8位以内に入ったチーム並びに予選で全国大会標準記録を切ったチーム。但し、決勝での記録とメンバーを優先する)
- (3) 飛込は1校1種目3名以内、1名2種目以内とする。
- (4) 水球は1チーム監督1名、選手13名以内とする。

10 参加申込

- (1) 申込書類

	①	②	③	④
A 参加種目別一覧表及び学校長認知書(男・女別、競技種目別) (3部提出 ①開催都県、②都県高体連事務局、③専門部控え)	○			
B 水球チーム別参加申込書(申込書と同じ番号の帽子を試合で着用) (3部提出 ①開催都県、②都県高体連事務局、③専門部控え) ※別に、「チーム紹介」を写真付きデータで提出する。	○			
C 競泳種目別参加申込書(書類2部提出)			○	
D 飛込(男・女別)飛込種目別参加申込書(データ提出) (3部提出 ①開催都県、②都県高体連事務局、③専門部控え) ※別に「出場選手名」「所属校名」「出場種目」「顔写真」(ﾀﾞｲ5×ｺｺ4cm) B5用紙サイズにまとめたものをデータで提出する。				○
E 参加校別参加選手数一覧及び参加料納入書(データ提出) (学校名は正式名称で入力すること。振込通知書の写しを添付)		○		
F エントリーデータ (開催都県の情報担当者へのメールで送信) (1)～(3)のデータ			○	

書類作成 ①参加校、②専門部 ③競泳記録担当 ④飛込記録担当

- (2) 申込方法：参加校は上記書類を各都県専門委員長へ提出し、各都県専門委員長は各書類を一括して

関東大会主管団体に送付すること。

◆開催都県送付書類

書類送付先	書類で提出するもの
〒230-0046 神奈川県横浜市鶴見区小野町6 横浜市立横浜サイエンスフロンティア 高等学校 内 酒井 篤 TEL 045-511-3654 FAX 045-511-3644	A 参加種目別一覧表及び学校長認知書 B 水球チーム別参加申込書 C 競泳種目別参加申込書 ①標準記録突破者処理を行ったリザルトデータ。 ②関東大会申込用に各都県で作成したWeb-swmsys のデータ。 (①・②どちらでも良いが「リレーエントリー.xls」によって、必ず リレー種目補員データを入力すること) D 飛込(男・女別)種目別参加申込書 E 参加校別選手数一覧表及び参加納入書(振込通知書の写しを添 付)
エントリーデータ送付先	データで送るもの
神奈川県高体連水泳専門部情報担当 慶應義塾湘南藤沢高等部 木次 智子 E-Mailアドレス kitsugi@sfc-js.keio.ac.jp TEL 0466-49-3585 FAX 0466-47-5077	E 参加校別選手数一覧表及び参加納入書 (学校名は正式名称で入力すること) F エントリーデータ (1) 予選会のリザルトバックアップデータ (2) 関東大会申込用に神奈川県が親大会として作成した大会の子大 会を、各都県で作成し入力したWeb-swmsys のデータ。 (「リレーエントリー.xls」によって、必ずリレー種目補員データ を入力すること) (3) 予選大会集計時にWeb-swmsysよりダウンロードできる「所属団体 一覧表」、ファイル名は「dantai.csv」としてダウンロードされるファイ ル。(学校名を正式名称で入力すること)
飛込担当 湘南学園高等学校 川口 薫 E-Mailアドレス kaoru.kawaguchi@shogak.ac.jp TEL 0466-23-6611 FAX 0466-23-5451	D 飛込(男・女別)飛込種目別参加申込書データ ※プログラム掲載用データ 「出場選手名」「所属校名」「出場種目」 「顔写真」(ﾀｲﾌﾟ5×ｺﾞｺ4cm)をB5用紙サイズ
水球担当 神奈川県立海洋科学高等学校 上田 優 E-Mail アドレス ueda-w2t@pen-kanagawa.ed.jp TEL 046-856-3128 FAX 046-857-6457	※プログラム掲載用データ 「出場チーム」写真データ

(3) 申込締め切り

競泳、飛込、水球ともに平成30年 **6月29日(金) 正午必着(データ)**

※書類は、6月29日までに郵送(投函)してください。

(4) 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」を参照ください)

11 参加料

[競泳・飛込] 1名につき 2,100円

[水球] 1チーム 20,000円

※ 主管団体は、一括して下記振込先に送金すること。

【送金銀行口座】

横浜銀行 逗子支店 (店番号 521)
普通預金 口座番号 6126676

口座名 関東高等学校水泳競技大会 会計 たきざわ ゆういち
瀧澤 裕一

※参加料についての連絡先

【問合せ先】

〒230-0046

神奈川県横浜市鶴見区小野町6 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 内

酒井 篤 (さかい あつし)

TEL 045-511-3654

FAX 045-511-3644

メール satsu01d@yahoo.co.jp

12 表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。表彰は各競技会場で行う。

(1) 競泳

- ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。
- イ リレー種目優勝チームには持ち回りの優勝杯を贈る。
- ウ 総合成績
男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を(公財)日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。
- エ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(2) 飛込

- ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。
- イ 総合成績
男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を(公財)日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。
- ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(3) 水球

- ア 第4位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加は第4位までとする。
- イ 優勝校には持ち回りの優勝杯を(公財)日本水泳連盟より贈る。
- ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

13 水球組合せ抽選会

平成30年 6月30日(土) 14時より、白鵬女子高等学校にて公開抽選を行う。
〒230-0074 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾4-10-13 TEL 045-581-6721
(JR鶴見駅西口より臨港バス「白鵬女子高校前」下車徒歩1分)

14 宿泊 別紙大会宿泊要項による。

15 監督者会議

[競泳] 平成30年 7月20日(金) 15時30分 会場:横浜国際プール・サブアリーナ
(横浜市営地下鉄線 北山田駅 徒歩5分)
〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1 TEL 045-592-0453

[飛込] 平成30年 7月21日(土) 8時30分 会場:相模原市立総合水泳場・会議室
(JR相模線 上溝駅 徒歩10分)
〒252-0242 神奈川県相模原市中央区横山5-11-1 TEL 042-758-3151

[水球] 平成30年 7月20日(金) 15時00分 会場：相模原市立総合水泳場・役員室
(JR相模線 上溝駅 徒歩10分)
〒252-0242 神奈川県相模原市中央区横山5-11-1 TEL 042-758-3151

16 事務局

- 競泳の事務局 〒230-0046 神奈川県横浜市鶴見区小野町6
横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 酒井 篤 (さかい あつし)
TEL 045-511-3654 FAX 045-511-3644
- 飛込の事務局 〒251-8505 神奈川県藤沢市鵠沼松が岡4-1-32
湘南学園高等学校 川口 薫 (かわぐち かおる)
TEL 0466-23-6611 FAX 0466-23-5451
- 水球の事務局 〒230-0074 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾4-10-13
白鵬女子高等学校 玉川 匡彦 (たまがわ ただひこ)
TEL 045-581-6721 FAX 045-571-3372

17 全国大会への参加資格

各地域大会における以下の成績の者またはチームは、各都道府県高等学校体育連盟及び加盟団体の推薦を得て全国大会に出場することができる。

(1) 競泳

ア 地域大会において、各決勝種目の第3位までの入賞者、またはチーム。

イ 地域大会において、予選及び決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者、またはチーム。
なお、同タイムも含む。

〈ア、イの確認事項〉

- 注1 個人種目では、必ず標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレーの第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。
- 注2 都道府県大会の記録で出場することは認められない。
- 注3 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。
- 注4 フリーリレー及びメドレーリレーは、地域大会における予選・決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と、別に補欠1名を申し込むことができる。参加資格を得た4名と補員が出場できるのは、申し込んだ種目に限定され、他のリレーには出場できない。但し、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。
- 注5 全国大会へのエントリータイムは、地域大会の予選・決勝のうち早いタイムとする。

ウ 各都道府県特別措置

地域大会において、全国大会の出場資格を得なかった都道府県は、男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。出場資格者の男女一方が欠けている場合は、欠けている方について1名1種目の推薦を認める。

注1 推薦は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目中から、地域大会において全国大会の標準記録に最も近い記録の者とする。

エ 全国大会開催都道府県特別措置

開催都道府県で、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目において出場者を得られなかった場合は、地域大会の上記該当種目に出場した最上位の者、男女各1名を、大会出場者として全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

※北海道は、1道1地域のため、ウ及びエの特別措置の対象とはならない。

オ 全国大会特別出場措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。リレー種目についても、予選会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。但し、その理由書を都道府県委員長に提出すること。届出者は、当該学校長とする。
このことに関する出場措置は、次のように行う。

- ① 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで + 派遣選手とする。
 ② 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域の出場者を3名とする。
 (注)各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中に含まなければならない。
 《リレー種目について》
 ③ 当年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する(各個人の合計記録は認めない)
 ④ チームとしては、都道府県予選会、地域大会に出場する。地域大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する。(代表選手が出場した場合は除く)

カ 競泳の標準記録

		関東大会		全国大会	
		男子	女子	男子	女子
自由形	50m	25.99	28.89	※ 24.40	27.25
	100m	56.79	1:01.79	52.85	58.81
	200m	2:06.39	2:14.49	1:55.31	2:06.43
	400m	4:27.19	4:49.19	4:04.65	4:25.61
	800m	-----	10:09.29	-----	9:11.13
	1500m	17:32.69	-----	※16:16.25	-----
背泳ぎ	100m	1:03.99	1:11.19	59.03	1:04.88
	200m	2:22.29	2:33.39	2:08.74	2:19.16
平泳ぎ	100m	1:11.69	1:19.79	※ 1:04.75	1:13.24
	200m	2:38.39	2:54.89	2:19.68	2:36.50
バタフライ	100m	1:01.69	1:08.49	56.26	1:02.89
	200m	2:21.29	2:36.29	※ 2:04.39	2:18.19
個人メドレー	200m	2:21.59	2:32.59	2:08.69	2:22.63
	400m	5:11.49	5:39.29	4:33.44	5:03.14
フリーリレー	4×100m	3:58.49	4:24.19	※ 3:36.31	4:02.26
	4×200m	8:29.29	9:54.59	7:52.81	8:49.61
メドレーリレー	4×100m	4:27.79	4:56.09	※ 3:56.68	4:26.16

※ 標準記録改定

(2) 飛込

- ア 地域大会において、各競技種目の第1位の者。
 イ 標準点を突破した者。(同点可)
 ※審判員は各ブロックにおける、A級またはB級審判員によって構成される。
 ウ 標準点

種目/性別	男子	女子
飛板飛込(3m)	11演技 323.00	10演技 285.00
高飛込	10演技 288.00	9演技 260.00

エ 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、開催都道府県に出場資格者がいない場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女各1名を、全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

オ 全国大会特別出場措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくとも出場できる。

- ① 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会出場者枠 + 派遣選手とする。
 ② 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域大会出場枠の人数とする。

カ シンクロナイズド飛込(公開競技)

- ① 男女シンクロナイズド3m飛板飛込を公開競技として行う。学校得点には加算しない。
 ② 参加資格は、各地域から男子・女子それぞれ1チームとする。但し、当該種目の標準点を2名とも個人で突破していること。
 ③ 1位から3位までに入賞した地域は、次年度の出場権を得たものとする。(次年度は2チームの参加が認められる)
 ④ 詳細については、地域大会で通知をする。

(3) 水球

ア 地域大会の成績によって次のチームが本大会に出場できる。

北海道・東北	上位2位まで	関東	上位4位まで	北信越	上位2位まで
東海	上位2位まで	近畿	上位3位まで	中国	上位2位まで
四国	上位1位まで	九州	上位3位まで		

イ 上記チームの他、主催都道府県にチームがある場合は、主催都道府県枠として1チームを加えることができる。

注1 主催都道府県枠のチーム選考は、地域大会の成績により決定する。

注2 地域大会において、主催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会の順位が地域枠の次の順位のチームを繰上げ、地域枠 + 1チームとする。

ウ 地域大会出場チーム数がアの数に満たない場合でも試合を行い、順位を決める。

エ 主催都道府県のチームが不出場の場合並びに地域予選に出場するチーム数が地域枠に満たない場合は、(公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部と(公財)日本水泳連盟において協議し、全国大会は20チーム参加とする。

18 練習会場・日程

[競泳]	7月20日(金)	横浜国際プール	12時00分～17時00分	退館	18時00分
[飛込]	7月20日(金)	相模原市立総合水泳場	16時30分～20時30分	退館	21時20分
[水球]	7月20日(金)	相模原市立総合水泳場	15時30分～20時30分	退館	21時20分

19 会場開・閉門時間(7月21日～23日)

- (1) 会場開門時間は、大会期間中、競泳は午前7時30分、飛込・水球は午前7時00分とする。
- (2) 会場閉門時間は、競技終了後1時間を原則とする。

20 連絡事項

- (1) 競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証又はそのコピーを持参する。
- (2) 開会式は、各都県の委員長が代表して出席する。また、閉会式も各都県の委員長が代表して出席する。
- (3) 宿泊斡旋を受けずに、各校で宿泊の予約を取ることは禁止する。
- (4) 大会プログラムに飛込出場選手の写真、水球チームの写真等を掲載する。
※出場校は6月29日(金)までに飛込、水球担当にデータ送信をお願いします。

21 会場使用についての注意事項

【各会場共通】

- (1) 貴重品の管理は各校で行うこと。また、観覧席などでは私物の管理を徹底すること。
- (2) 更衣室ロッカーの使用は不可。更衣室に荷物などは絶対に放置しないこと。
- (3) 各会場受付にて配布するADカードは、必ず首からさげること。
(注意：ADカードのない者は、アリーナ内への入場できない。)
- (4) 会場内でビデオ・カメラを撮影する場合は、通行の妨げにならない場所で使用すること。
※撮影許可書の発行はしない。
- (5) 各会場(観客席・更衣室・トイレ・選手控所等)を利用するときは、整理整頓に努める。

【競泳会場】

- (1) 選手および監督・コーチ、応援選手および保護者の入場・退場は、3階メインアリーナ観覧席出入口からのみとする。(1階玄関からの利用不可)
- (2) 指定された場所以外での場所取りは禁止とする。
- (3) 3階観覧席から1階更衣室までの移動は、水着での移動は禁止する。
- (4) メインアリーナへの入退場は男女各更衣室からのみとする。
- (5) 更衣室内およびアリーナ内での履き物は禁止とする。

(注意：観覧席階段からアリーナ内は素足になります。)

- (6) 1階エントランスホールでの食事・ミーティング・ストレッチは禁止とする。
- (7) 選手のエレベータの使用は禁止する。
- (8) プライベートテントの使用は禁止とする。
- (9) 部旗は、7月20日(金)12時00分から掲揚を認める。観覧席手摺りに張ること。できるだけ小さい部旗で、選手の妨げにならない物とする。(妨げになる場合は、移動または撤去する場合もある。)
- (10) 選手控所(観覧席を含む)は各都県に割り振るので、互いに融通して使用すること。

【飛込・水球会場】

- (1) 部旗・横断幕は当該チームの試合中または競技中に指定された場所に掲示することを認める。
- (2) 会場までの移動は公共交通機関を利用すること。(駐車場なし)
- (3) 選手控所はスタンドとする。
- (4) アリーナ内は選手は裸足、監督・チームスタッフは室内履き(サンダル不可)のみ許可する。
- (5) 2階観覧席から1階更衣室までの水着での移動は禁止する。

関東高等学校体育大会における個人情報 及び肖像権に関わる取り扱いについて

関東高等学校体育連盟

関東高等学校体育連盟は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応します。

- 1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い
 - (1) 大会プログラムに掲載します。
 - (2) 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
 - (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。
- 2 競技結果（記録）等の取り扱い
 - (1) 開催県各種目専門部の報道・記録係を通じて公開されます。
 - (2) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
 - (3) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、大会本部が作成する大会報告書（以下「報告書」という）に掲載されます。
 - (4) 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降のプログラムに掲載されることがあります。
- 3 肖像権に関する取り扱い
 - (1) 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
 - (2) 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
 - (3) このほか、関東高等学校体育連盟の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。
- 4 開催県各種目専門部としての対応について
 - (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
 - (2) 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
 - (3) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、関東高等学校体育連盟事務局または大会を開催する各都県高等学校体育連盟までご連絡下さい。

連絡先・問い合わせ先

関東高等学校体育連盟事務局（千葉県）	043-252-1691
茨城県高等学校体育連盟	029-300-5012
東京都高等学校体育連盟	03-5320-7470
栃木県高等学校体育連盟	028-622-8660
群馬県高等学校体育連盟	027-224-5046
山梨県高等学校体育連盟	055-287-8862
埼玉県高等学校体育連盟	048-822-6792
神奈川県高等学校体育連盟	045-311-8817